

北川議員

空き屋・空き工場対策について

問長年にわたり管理されていない空き屋・空き工場が周辺の環境を悪化させ、隣接する住民に崩壊による被害を及ぼす危険性が出てきている。全国的には条例や要綱を制定し問題解決に取り組んでいる自治体もある。

答市民の安全のため、また観光環境を推進している当市でも国補助事業を活用し、対策に取り組むべき。所見を伺う。

問市では「不在家屋対策マニュアル」を基に、管理指導を行っている。今後条例制定等、先進的な全国事例も研究して積極的に取り組んでいく。

答また指摘の国土交通省の空き屋再生等推進事業については個人財産を対象とするため慎重に対応し、活用できるか研究していく。

買い物弱者について

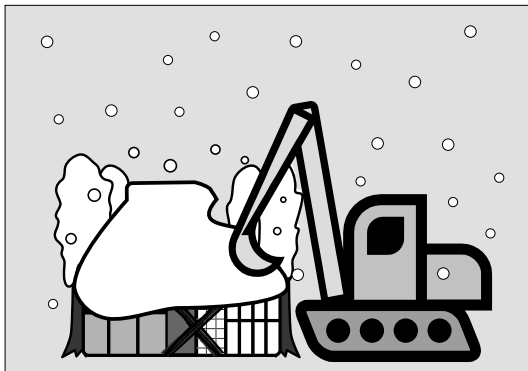
問高齢化や過疎化による高齢者の「買い物弱者」が社会的問題になっている。当市でも身近にあった商店の撤退や高齢化で日常の買い物に支障が出ており、「何とかして

その他の質問
・精神対話士の必要性について
・小学校の「外国語活動」について

ほしい」という声を聞くようになってきた。このことについて市の認識と今後の取り組みについて伺う。

答要介護認定を受けている方は訪問介護サービスで支援している。一方、要介護認定対象外の独居の方については、市単独の軽度生活援助事業で支援している。

23年度には、第5次介護保険事業計画を策定することになっているが、22年度に策定準備として高齢者のニーズ調査を実施する予定。その結果を踏まえ第5次介護保険事業計画策定を通じて庁内関係課とも協議の上、検討していきたい。



山田議員

雪対策について

問市民アンケートでは雪対策の要望が一番多い。

答①道路の雪対策事業費を「実施計画で示す」と答弁されたがこれでは遅すぎる。新体育館と同様に10年間の目標達成に必要な事業費を早急に示すべき。

②屋根雪対策として河川水の利活用、地元業者への技術支援、補助制度の見直しなどが必要。

問①道路の実態や地域の実情に合った除雪方法を地区住民と協議する必要もあり、十分調査した上で事業量や事業費を算出する必要があると考えている。

②河川水利用による屋根融雪は、水利権や浮遊物による目づまり、



その他の質問
・地域経済を破壊する危険があるTTPPについて
・店舗や住宅建築に対する助成制度について
・来年度予算編成について

凍結による破損等の懸念がある。技術開発に取り組んでいる業者の意見も聞き、今後実用化に向け調査研究していく必要がある。

新体育館について

問①「市街地に建設する」としているが、市街地の範囲はどこか。

②用地費や関連費用で総事業費は増える。勝山市の財政で、新体育館建設に使える限度額はどの程度か。

答①学校区域とか、都市計画法上の用途区域という線引きを想定しているものではなく、なるべく市の中心部に近い所をという意味でご理解いただきたい。

②現在、建設場所が未定であり、用地費も含めて周辺整備費についても現時点で試算は困難。しかし今後、新体育館の建設にあたっては適切な規模・内容となるよう十分精査し、市の財政状況をしっかり見極めながら対応していくべきものと考えている。